

15-30

平成 27 年 11 月 11 日

神奈川トヨタ 150 名規模で林内清掃を実施！ ＝丹沢の水源地区でヤマビル退治！ 森林保護啓発活動を実施します＝

神奈川トヨタ自動車(横浜市 社長 市川英治)はNPO法人かながわ森林インストラクターの会(厚木市 理事長 久保重明)の協力のもと11月14日(土)、15日(日)の2日間、足柄上郡松田町の「やどりき水源林」において森林保護の啓発を目的とした活動を行ないます。

この活動は神奈川県がすすめる「かながわ水源の森林づくり」事業への協力の一環で、平成10年より毎年開催されており、今回で18年目通算32回目を迎えました。

また、活動の主体が当社でハイブリッドカー「プリウス」を購入されたお客様となっていることから「プリウス^{しんぼくかい}森木会」と銘打っており、これまで延べ2,000名を超える方にご参加いただき、間伐作業の実体験や森林インストラクターによる森林機能のレクチャーにより、森林保護の重要性を伝えて参りました。

今回はお客様、スタッフを合わせ2日間で延べ150名が参加し、同水源林内の周遊歩道を中心に枯れ枝拾いや落ち葉掻きを実施します。集めた間伐材や枯れ枝を使って※カントリーヘッジ(粗朶柵)を作り、昆虫や小動物の棲み処を作ります。また、落ち葉掻きの副次的効果として丹沢で近年大量に発生しているヤマビルの冬眠場所を減らし、来春の発生を防ぐ事が期待できます。



【過去の活動の様子】

当日のスケジュール

- 10:00 オリエンテーション
- 10:20 午前の部
 - A) 清掃活動
 - B) リース作り、他
- ※ 2グループに分かれて活動します
- 12:50 午後の部
 - A)B)の内容が入れ替わります
- 15:40 終了予定

※ カントリーヘッジとは・・・
間伐材や枯れ枝等を使い作られた簡易柵の事。土留めや小動物の生息場所としての効果が期待されます。

神奈川トヨタとかながわ森林インストラクターの会では、今回この活動に興味をお持ちの報道関係の皆さま向けに専属のスタッフをご用意し、取材をお待ちしております。

詳しくは下記の担当までお問い合わせください。

本件のお問い合わせ先

神奈川トヨタ自動車株式会社 渉外広報部 広報室
Tel045-459-2216 担当：佐藤・寺嶋
NPO法人かながわ森林インストラクターの会
Tel046-280-4101 担当：森本・福島

<別紙>

※神奈川トヨタ自動車「かながわ水源の森林づくり事業」への参加協力について

「かながわ水源の森林づくり事業」とは県北西部の水源地区にある人工林において近年国内林業の衰退等で放置され荒廃が進んでいる現状を踏まえ、神奈川県が平成9年4月よりスタートさせた官民一体で進める活動です。

協力企業に寄付、及びボランティア活動を募り、水源かん養機能など森林の持つ公益的機能を高めるために、手入れ不足の人工林に枝打ち、間伐等の手入れを行い、最終的に巨木林、複層林、混交林へと導くことを目標にしています。

神奈川トヨタではこの事業について、同年発売の世界初量産ハイブリッドカー「プリウス」の取り扱いを機にパートナー企業の第1号として参加しており、プリウスの販売台数に応じ、同事業への寄付を行っています。その累計額は約5,700万円となっております。

また、顧客参加型の森林保護活動の会「プリウス^{しんぼくかい}森木会」を発足し、現在年間4日間のペースで森林保護活動や自然観察会などを実施し、神奈川県、NPO法人かながわ森林インストラクターの会と協力しながら地元の森林保護について啓発を広めています。

※かながわ森林インストラクターの会について

平成2年6月に神奈川県によって制定された県知事認定資格「神奈川県森林インストラクター」の方々により平成4年4月に発足。平成20年4月よりNPO法人となる。

県民を森林に案内し、林業に携わる人々とのふれあいを通じて森林・林業に関する知識と理解を深め県民参加による森林づくり運動を推進しています。

同会ではこの「プリウス^{しんぼくかい}森木会」に初回から協力、参加者に対し植樹や^{かんぼつ}間伐といった森林整備に関する作業の指導のほか、森林内での楽しみ方や森林内に生息する動植物についてのガイダンスを行なう等、森林整備・保全の意義を伝えています。

※神奈川県のヤマビル対策について

神奈川県では丹沢山地東部を中心にヤマビルが生息し被害が発生している為、リーフレットを作成しビジターセンター等、県の施設で配布している他、ホームページ上に掲載し注意を促しています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f986/p10106.html>

以上